

長野県生コンクリート工業組合との懇談会を開催しました

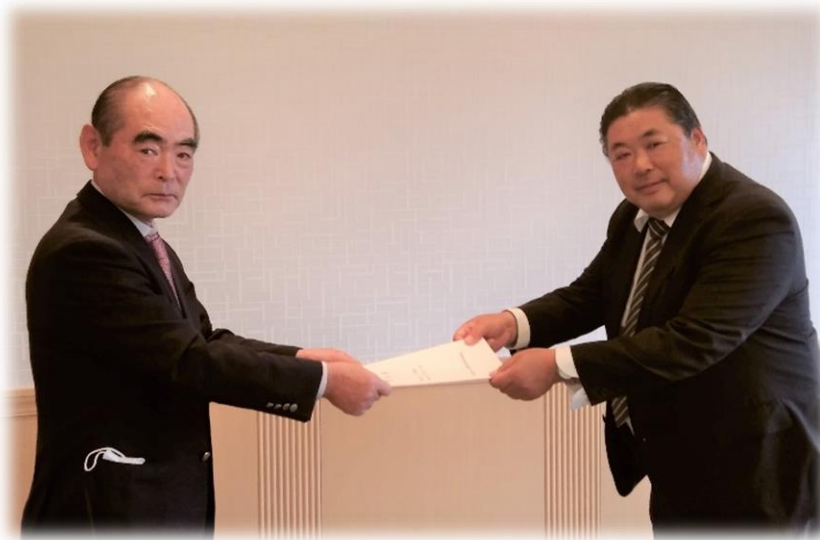
令和3年11月17日

砂利・砂等の主要な需要先である生コンクリート製造業者の県的な団体、長野県生コンクリート工業組合と懇談会を開催し、懸案事項である、「地産地消のさらなる推進」と「コストアップを反映した骨材購入価格の設定」を要望しました。

懇談会は、例年開催しているもので、本会からは松田文治会長、片井周一、藤澤幸治、丸山功一 各副会長が出席し、また県生コン組合からは 山浦友二理事長、鷲澤幸一、山田尚人、有賀喜文 各副理事長の出席をいただきました。

県内の骨材の需給動向に関する意見交換では、コストアップへの対応として販売価格の適正化の動向や、骨材確保に向けての対応等が話し合われました。また、飯田・下伊那や、木曾を通過する、リニア新幹線工事に関する骨材供給への対応も話し合われました。

公共工事をめぐる対応等で両団体が連携し万全の態勢で臨むことを確認しました。



松田会長(左)から県生コン組合の山浦理事長へ
要望書を提出